

くらしの願いかかげ

公約実現へ

「国保料値下げ」と「学童おやつ・時間延長」の条例提案



統一地方選挙後初めての議会で、日本共産党は1名減の4名となりましたが、確保した議案提案権を活用し、18歳未満の子どもの国民健康保険料を減免する条例案と学童クラブの区によるおやつ復活と時間延長のための条例案を提出しました。区長交代後初めての議会で、区政の基本姿勢と障害者・高齢者の福祉、ハザードマップと大規模水害対策、羽田空港増便問題など切実な区民要求を取り上げました。

新区長に区政の基本姿勢を問う

わが党は、民主主義を守るための根本的な対応として、区長選で無所属の対立候補を支援しました。しかし、それは新しい区政に何でも反対という立場をとるものではありません。「住民の福祉の増進」という地方自治の目的に照らして判断する立場を表明し、あらためて区長は地方自治の目的についてどのように考えるかを質しました。また、選挙で示した公約への思いと実現の展望について質問しました。

区長は、「福祉の推進はもちろんだが、住民には権利とともに義務もあり、負担という悪い部分も話すことが誠意をもった対応になる。現状でよいという事業は一つもなく、議会の同意を得ながら実現していきたい」と答えました。

障害者福祉の充実を

障害者支援ハウスで、今年5月に起きた入浴中の痛ましい死亡事故について、詳細な検証や再発防止について質問。合わせて需要の多い障害者ショートステイ

の拡充を要望しました。区長答弁では、事故については警察の捜査結果と合わせて報告すると述べました。毎年千件断っている障害者ショートステイは、高齢者介護の施設で受け入れ可能か検討しているとしました。

今年定員いっぱいの小松川「さくらの家」に関連して、障害者生活介護施設の増設と民間事業者への補助について質問。区長は当面区立施設や民家施設の空きを利用し、不足したら増設すると答え、民間には区独自の補助は考えていないとしました。



中葛西にある障害者支援ハウス

「新庁舎建設」は区民参加で

昨年、船堀の都有地取得のめどがたったことで、議会に特別委員会を設置しました。区も「新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会」を、公募区民4人を含め立ち上げました。既に4回開催され、「災害に強い」「分かりやすく、利用しやすい庁舎」など議論がすすめられています。

傍聴もでき、議事録やニュースもホームページで公開しています。区民意見も募集中です。「区民参加で開かれた委員会」と求めてきたことが一歩前進しました。



(江戸川区公開資料より)

広域避難に意見続出 水害ハザードマップ

「ここについてはダメです」という表紙のフレーズで、マスコミも巻き込み区民の関心を集めている『江戸川区水害ハザードマップ』について質問しました。

区長は、住民説明会で「高齢者が避難するのは大変」「避難先を示してほしい」「移動手段はどうするのか」などの意見が出たことを紹介。これからも説明の場を設けること、国や都を交えた首都圏の検討会で広域避難の場や手段などの課題を検討していると答弁しました。



全戸に配布されたハザードマップ